

## 熱水力ロードマップ 第1回熱水力 SWG 委員会 議事メモ

1. 日時 平成 30 年 3 月 27 日 10:00~12:00
2. 場所 大阪大学 会議室 2
3. 参加者 守田 (熱水力 SWG 主査)、功刀 (安全評価 SWG 主査)、  
(熱水力 RM WG) 越塚 (WG 主査)、大川 (電通大)  
(熱水力 SWG) 帆足 (阪大)、中村 (秀) (JAEA)、岡田 (IEST)、中村 (晶) (INSS)、  
大貫 (MHI)、村瀬 (INSS)、  
(安全評価 SWG) 鈴木 (IEST)  
(熱水力 SWG 幹事) 上田 (MHI)、上遠野 (日立)、逢坂 (JAEA)、岩城 (東芝)、  
木藤 (日立 GE)、西 (電中研・記)
4. 配布資料  
熱水力ロードマップ 第1回熱水力 SWG 議事次第 (案)  
補足資料① 「熱水力安全評価基盤技術高度化戦略マップ 2017」解説記事 (ドラフト)  
補足資料② 第1回幹事会議事録 (2017年12月20日実施)  
補足資料③ 第2回幹事会議事録 (案) (2018年2月2日実施)  
補足資料④ 基盤技術の技術マップ  
補足資料⑤ SAの技術マップ  
補足資料⑥ 新たな「基盤技術」の技術マップ構成 (案)  
補足資料⑦ 新たな「SA」の技術マップの改訂イメージ (案)  
補足資料⑧ 2017年9月時点の WG,SWG 活動スケジュール (案)

### 5. 主な議事

#### 5.1 本 SWG の背景と目的

守田主査からのご挨拶の後、過去の経緯として、

① 2011年3月の福島第一原子力発電所(1F)事故の教訓を踏まえて、世界最高水準の安全性に寄与する技術による継続的な安全性の向上を図るための「熱水力安全評価基盤技術高度化戦略マップ 2015 (改訂版)」が2015年3月に整備されたこと、

② 定期的なフォローと更新(ローリング)を行うため、2016年3月に、「熱水力安全評価基盤技術高度化戦略マップ検討ワーキンググループ(WG)」が設置され、2017年3月に更新版である「熱水力安全評価基盤技術高度化戦略マップ 2017」がリリースされたが、

③ SAの技術マップ(「熱水力安全評価基盤技術高度化戦略マップ 2017」では付録1として収録)と、基盤技術の技術マップ(同、2.3.1節に収録)の更新については、今後の課題として残されていた。

ことが説明された。

## 5.2 自己紹介

会議の参加メンバから自己紹介が行われた。5.3 熱水力 SWG 幹事団の活動

木藤幹事から、熱水力 SWG 幹事団における過去 2 回の議論の内容が、補足資料②と③により紹介された。

## 5.4 幹事団からの改訂方針の提案

木藤幹事から、幹事団で議論した結果の改訂方針（案）について、補足資料⑥と⑦により説明された。

## 5.5 安全評価 SWG の議事の紹介

同 SWG の鈴木幹事より、安全評価 SWG の議事の紹介が為された。

以上を踏まえ全体討論を行った。主な質疑を以下に示す。

C) 基盤技術の新規技術マップの中で、人的なアクション（アクシデントマネジメントや運転員操作）とその作用についても判るように記載してはどうか。また、プロジェクト課題として個票を参照するだけでなく、基盤技術マップに目標・出口を記載すべきでないか？

Q) 福島原発事故後の劇的な情勢変化の中で技術課題の網羅性をどう担保するか。

A) 規制ガイドラインをベースに専門家議論を加える。

C) エネ庁による重要課題の選定において参照されることにより、予算化につなげるために役に立つという視点も重要である。軽水炉技術・人材RMとの対応表は必要。

C) 現在の SA 技術マップについても問題がある。課題とされる問題が解決された際に、安全評価コードがどう改善するかが判らない。そもそも、安全解析の課題が上位にあるべきで、それから個々の解決課題が整理されるべきではないか。また、「技術課題の現状」や「公開データや知識ベース」の記載に比較して、「評価手法」などの記載の充実度が低いと感じる。

C) 安全評価コードは、我々が知っている物理現象を全て表現しているのか？そうではないと思う。あるべきモデルと研究課題のマッチングが重要である。個々のモデルの不確かさが大きい状態でコードの検証をすることについての意義も考える必要がある。

## 6. 今後の展開

今回、幹事団から提示した技術マップのローリング方針案については、概ね出席者の合意が得られたと理解しているが、重要なコメントも頂いたため、まずは熱水力 SWG の幹事団で議論を行い、できるだけ早い段階で、安全評価 SWG の議論とマッチングさせることとなった。また、「秋の大会」までに可能であれば熱水力 SWG 委員会を開催する方向で検討

することとなった。

以上